

令和4年度一般幹部候補生（陸上自衛隊（大卒程度試験）音楽要員）採用のご案内

1 陸上自衛隊音楽隊とは

陸上自衛隊には21個の音楽隊があり、全国各地で隊員の士気高揚や各種式典、自衛隊の広報活動などのために幅広く演奏を行っています。

なかでも中央音楽隊は、国賓・公賓に対する特別儀仗をはじめ国家的行事の演奏を担任するほか、2015年からパプアニューギニア国防軍軍楽隊の育成支援を行う等、日本を代表する吹奏楽団として国内外から認められています。

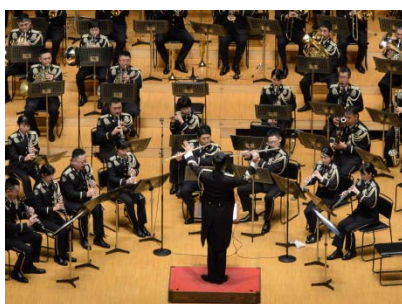
また、すべての音楽隊員が音楽に関する理論と実技の教育を段階的に受けられるほか、編曲法、ドリルコンテ作成、音響機材操作など専門実務の教育も行い、音楽隊としての能力向上に努めています。



陸上自衛隊音楽隊の主な任務



特別儀仗



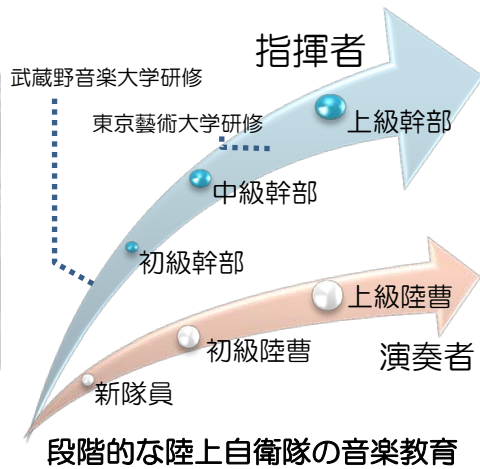
定期演奏会



海外演奏



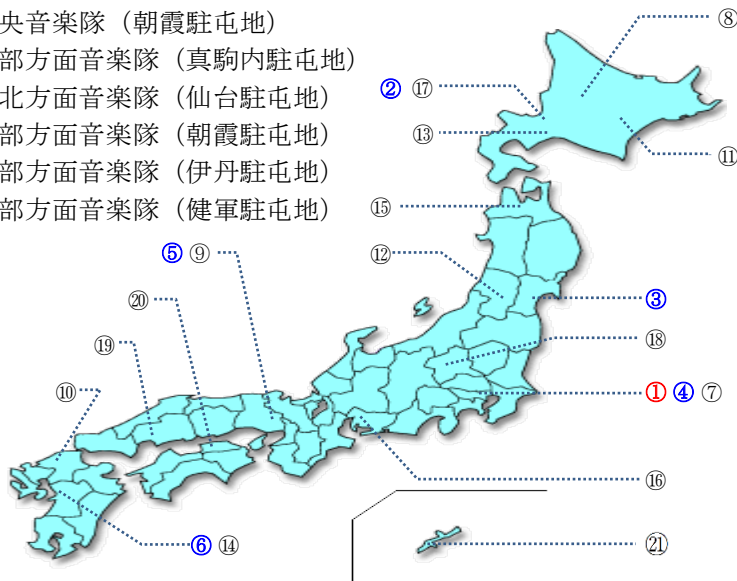
災害派遣演奏



段階的な陸上自衛隊の音楽教育

【全国陸上自衛隊音楽隊】

- ① 中央音楽隊（朝霞駐屯地）
- ② 北部方面音楽隊（真駒内駐屯地）
- ③ 東北方面音楽隊（仙台駐屯地）
- ④ 東部方面音楽隊（朝霞駐屯地）
- ⑤ 中部方面音楽隊（伊丹駐屯地）
- ⑥ 西部方面音楽隊（健軍駐屯地）



- ⑦ 第1音楽隊（練馬駐屯地）
- ⑧ 第2音楽隊（旭川駐屯地）
- ⑨ 第3音楽隊（千僧駐屯地）
- ⑩ 第4音楽隊（福岡駐屯地）
- ⑪ 第5音楽隊（帯広駐屯地）
- ⑫ 第6音楽隊（神町駐屯地）
- ⑬ 第7音楽隊（東千歳駐屯地）
- ⑭ 第8音楽隊（北熊本駐屯地）
- ⑮ 第9音楽隊（青森駐屯地）
- ⑯ 第10音楽隊（守山駐屯地）
- ⑰ 第11音楽隊（真駒内駐屯地）
- ⑱ 第12音楽隊（相馬原駐屯地）
- ⑲ 第13音楽隊（海田市駐屯地）
- ⑳ 第14音楽隊（善通寺駐屯地）
- ㉑ 第15音楽隊（那覇駐屯地）

2 音楽適性検査について

(1) 内 容

陸上自衛隊（大卒程度試験）音楽要員希望者の第1次試験合格者に対し、第2次試験として小論文試験、口述試験、身体検査の他、下記内容の音楽適性検査を受けていただきます。

No.	項 目	内 容	
1	聴音検査	8小節の単旋律の聴音 8小節の和声（4声）の聴音	
2	視唱検査	8小節の新曲（高音部譜表）の視唱	
3	楽器検査	実 技	任意の楽器による任意の楽曲（無伴奏）の演奏（8分程度）
		副科ピアノ（※）	任意の楽曲の演奏（3分程度）
4	指揮検査	吹奏楽の指揮 課題「セント・アンソニー・ヴァリエーションズ（少人数版）」 作曲：ウィリアムH.ヒル（編曲：佐藤博昭）ミュージックエイト版	

※「実技」においてピアノを演奏するものは除く。

(2) 場 所

陸上自衛隊中央音楽隊（陸上自衛隊朝霞駐屯地）
〒178-8501 東京都練馬区大泉学園町
（最寄駅：東武東上線「和光市駅」）

3 入隊後の一般的な勤務内容

年齢	20代	30代	40代	50代
勤務内容	幹部候補生学校 武蔵野音楽大学研修 教官、演奏幹部等 方面音楽隊音楽班長 師団・旅団音楽隊長	東京藝術大学研修 中央音楽隊班長 方面音楽隊副隊長 陸上幕僚監部勤務	方面音楽隊長 方面音楽隊副隊長 中央音楽隊科長	中央音楽隊長 方面音楽隊長 中央音楽隊副隊長

4 その他

(1) 受付期間、採用予定数、応募資格、第1次試験及び2次試験について
「令和4年度自衛隊一般幹部候補生採用要項」をご参照ください。

(2) 音楽適性検査に関するお問い合わせ

陸上自衛隊中央音楽隊企画科人事班（048）460-1711（内線3604）

5 幹部紹介

陸上自衛隊音楽隊の2名の幹部を紹介します。



2等陸尉 船越 孝太（東北方面音楽隊）

東京学芸大学大学院教育学研究科を修了後、2016年3月、陸上自衛隊に一般陸曹候補生として入隊し、北部方面音楽隊のユーフォニアム奏者として勤務。2018年3月から、陸上自衛隊幹部候補生学校において、幹部に必要な基礎的事項について教育を受ける。2019年1月、同校での教育課程を修了。4月から1年間、指揮者として必要な基礎的事項を学ぶため武蔵野音楽大学において研修を受ける。

ユーフォニアムを山本訓久、露木薫、作曲及び和声を鈴木静哉の各氏に師事。

受験をめざす方々へ

私はいつか音楽科の幹部になりたい、と入隊当時から考えていました。その思いが結実し、一般幹部候補生試験に合格することができた喜びは、とても大きなものでした。もちろん、幹部候補生学校での教育についていけるかどうか、不安を感じることもありました。しかし、多くの同期と出会い切磋琢磨しあえたことで、不安は幹部としての使命感や自信へと昇華されていきました。現在は、ついに音楽科で勤務できることに大きな充実感を覚えています。

願いや思いは、勇気を持って行動に移すことで実現へと繋がっていくと思います。皆さんが最初の一步を踏み出し、一緒に音楽科幹部として勤務できる日を、心よりお待ちしております！

2等陸尉 松田 拓也（北部方面音楽隊）

東京音楽大学（指揮科）を卒業し、2018年3月幹部候補生学校に入校、2019年1月同校での教育課程を修了。4月から1年間、指揮者として必要な基礎的事項を学ぶため武蔵野音楽大学において研修を受ける。

指揮を広上淳一、田代俊文、三河正典、時任康文、ピアノを穴吹朱美、野田清隆、トロンボーンを笠川由之、岸良開城、声楽を細川千賀子、作曲法を佐藤博、石毛里佳の各氏に師事。



受験をめざす方々へ

この音楽要員の受験を考えている皆さんは、きっと今まで音楽に打ち込んできた方々ではないでしょうか。そんな皆さんが自衛隊で働くという事に対して、生活や訓練などをはじめ、今まで経験した事のない様々なことに不安を感じる事でしょう。それでも、この幹部候補生の受験を検討しているということは、皆さんが陸上自衛隊の音楽科幹部に魅力を感じているからだと思います。体力や生活、訓練などの不安は入校してから徐々に慣れていけば問題ありませんし、必ず同じ不安を抱えた仲間がいます。そして、音楽科職種での勤務は、きっと皆さんが考えているよりもずっと有意義です。皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしています！